

プリンペラン注射液 10mg

【この薬は？】

販売名	プリンペラン注射液 10mg Primperan Injection 10mg
一般名	塩酸メトクロプラミド Metoclopramide Hydrochloride
含有量 (1 アンプル 2mL 中)	塩酸メトクロプラミド 10mg (メトクロプラミドとして 7.67mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、消化器機能異常治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内等の神経伝達物質の受容体に作用して吐き気を抑えたり、消化管の運動を活発にする働きがあります。
- ・次の病気の人、または次の目的で、医療機関で使用されます。

○次の場合における消化器機能異常（悪心・嘔吐・食欲不振・腹部膨満感）

胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胆嚢・胆道疾患、腎炎、尿毒症、乳幼児嘔吐、薬剤（制癌剤・抗生物質・抗結核剤・麻酔剤）投与時、胃内・気管内挿管時、放射線照射時、開腹術後

○X 線検査時のバリウムの通過促進

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にプリンペラン注射液に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマの疑いのある人
- ・消化管に出血、穿孔（穴があいた状態）または器質的閉塞（詰まった状態）のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・脱水症状のある人、栄養状態の悪い人等
- ・腎臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により、内分泌機能異常（プロラクチンの上昇によって月経が不規則になる、または止まる、妊娠や授乳をしていないのに乳汁が出る、性欲が低下する）、錐体外路症状（動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない）等があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に相談してください。
- ・眠気、めまいがあらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・この薬により、心室頻拍（めまい、動悸（どうき）、胸の不快感、気を失う）、心室細動（気を失う）等の重篤な不整脈があらわれることがあります。これらに関連する症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。心機能検査（心電図検査等）が行われることがあります。
- ・小児は、錐体外路症状がおこりやすいため、とくに脱水状態、発熱時等には注意してください。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・高齢の人は、錐体外路症状がおこりやすいため、これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にぼーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意思に反して体が動く
重篤な不整脈（心室頻拍、心室細動） じゅうとくなふせいみやく（しんしつひんぱく、しんしつさいどう）	めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、胸の不快感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、高熱、汗をかく、体のこわばり、顔や手足の筋肉がぴくつく、意思に反して体が動く
頭部	めまい、意識の消失、ぼーっとする、意識の低下、一時的にぼーっとする、気を失う
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、意思に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き

部位	自覚症状
胸部	動悸、息苦しい、呼吸数が増える
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、脈が速くなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	プリンペラン注射液10mg
性状	無色～わずかに黄色を帯びた澄明な液 水性注射剤
形状	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	プリンペラン注射液10mg
有効成分	塩酸メトクロプラミド
添加剤	ピロ亜硫酸ナトリウム、等張化剤、pH調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）